

**阿見町の創造力**

<83>

■ ■  
 タイル施工会社として1992年に設立。剥離解消を模索していた中、2011年3

も一つの特徴が、高度な技術を持たなくても比較的簡単に施工できることだ。土井清取締役(55)は「職人の技量不足も影響ない」と話す。下地にもよるが、従来工法と比べ、施工時間はこれまでの3分の1から5分の1程度に短縮できるという。

■ ■  
 同社が開発した「ガチロック」は、タイルの裏面加工による新たな工法。ステンレス製の金具を裏面にはめ込み、建物壁面に水平に貼った専用レールに固定する。坂野社長は「モルタルや接着剤だけの従来工法と比べ、格段に耐震性に優れる。震度7程度の地震でも耐えられる」と安全性に胸を張る。

「タイルの剥離を防ぐことは災害時に人命を守ることにもつながらる」。ミトモの坂野浩勝社長(56)は開発の原点にある安全安心への思いを強調する。

# 剥離落下防ぐタイル工法

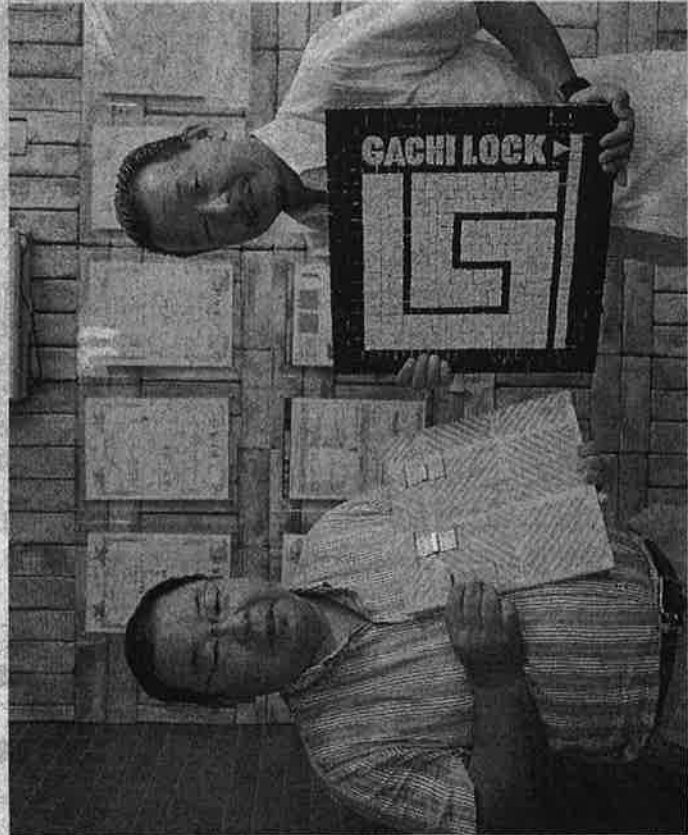
## ミトモ(阿見町)

月に東日本大震災が発生。タイルが剥がれ落ちた現場を見て回り、「誰にでも簡単に施工でき、タイルが落ちない工法が必要」(坂野社長)との思いを強くした。

国土交通省や経済産業省の補助金を受けながら、開発に着手。強度や耐久性の試験、改良を加えながら完成させ、12年7月に商標登録した。耐震性に優れ、45畳までの高層建築物で強風による揺れにも強いなどの裏付けデータを試験機関で得ている。

坂野社長は「技術力には自信があったが、前例がなく、実績もない。手探りの中、信頼性をどう高めていくかが難しかった」と振り返る。

■ ■  
 岐阜県のタイルメーカーな



「ガチロックはタイルが剥がれ落ちない画期的な工法」と話す(左から)坂野浩勝社長と土井清取締役＝阿見町荒川本郷

- ▽本社 阿見町荒川本郷
- ▽設立 1992年5月
- ▽資本金 500万円
- ▽従業員 4人
- ▽メモ 工芸名は「ガチッとロックして離さない」特徴から名付けた。

とど販売会社を設立し、販売面も強化した。マンションや結婚式場、病院、社屋など幅広い分野に進出。去年は台湾に輸出した。「自分でやりたいとインターネットでも注文が入るようになった」と土井取締役は普及への手応えを口にする。

商品開発がゴールではない。同工法に使う特殊接着剤、タイル裏面にガラス繊維の網を貼り付けた飛散防止タイルを生むなど安全性の向上に努める。坂野社長は「タイル施工で30年以上、仕事をしてきた。その恩返しも兼ね、人の役に立つ仕事をしたい」と話し、「職人魂」を燃やす。

(第4火曜掲載)